

体感。感動。感謝。NBUのCOC事業をお伝えします。

文部科学省
地(知)の拠点



日本文理大学COC事業

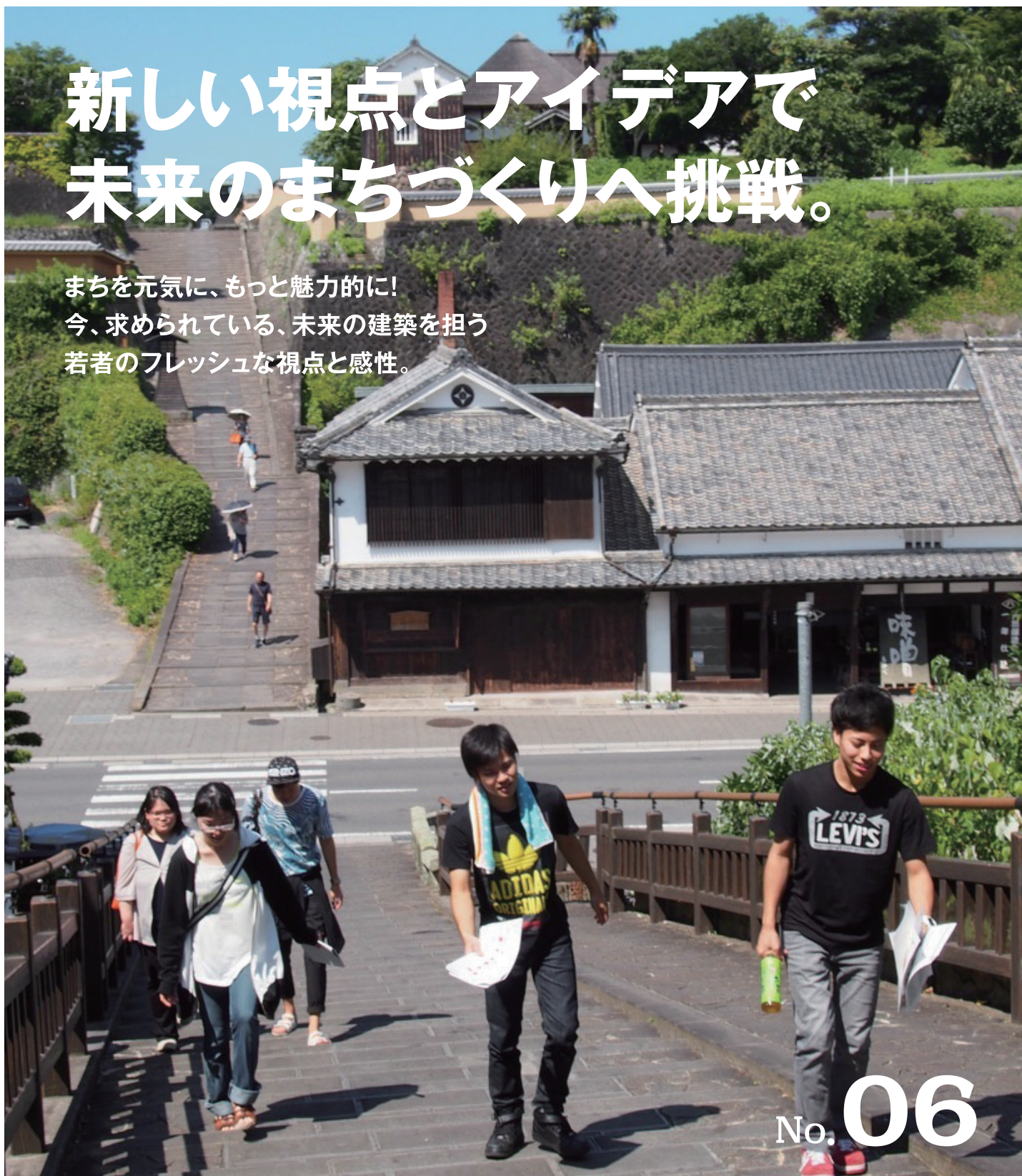
おおいた、つくりびと

coc-nbu.jp

February 2016 Nippon Bunri University, COC MAGAZINE

新しい視点とアイデアで 未来のまちづくりへ挑戦。

まちを元気に、もっと魅力的に!
今、求められている、未来の建築を担う
若者のフレッシュな視点と感性。

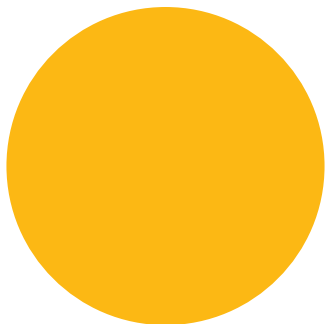


No. 06

キラリびと

『おおいた、つくりびと』で活躍する学生、
教職員、地域の皆さんにインタビュー。

06



「中判田駅を中心とするまちづくり」
プロジェクトメンバー
工学部 建築学科3年
那賀 美咲

Q. 「中判田駅を中心とするまちづくり」で
目指すものは？

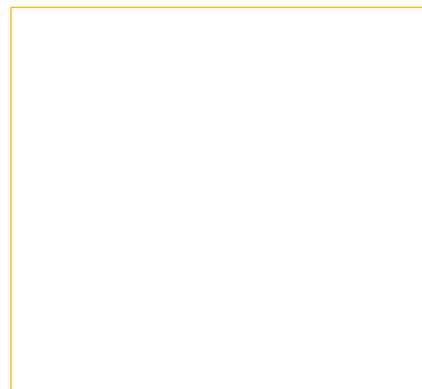
A. 中判田駅について、地元の関係者の皆さんとお会いしたのですが、四季を感じられる花壇や、みんなが集えるスペースが欲しいなど、たくさんのリクエストをいただきました。実在する駅なので敷地や道路の幅などの制約もあるのですが、さまざまな条件の中で、地元の皆さんに喜んでもらえる、愛着を持って駅を利用してもらえるプランをつくりたいと思います。時間はかかるかもしれませんが、自分ひとりで考えるだけでなく、メンバー全員がアイデアを持ち寄り、議論を重ねながらカタチにしていきたいですね。

Q. アイデアを具体的なカタチにする作業
でこだわっている点は？

A. 昔から絵を描くことが好きなので、CADなどの建築専用ソフトだけでなく、色鉛筆を使っ

たイラストで表現しています。彩りや温もりなど手描きの方が伝えやすいですね。子どもが楽しめるアーチや喫茶店、小さなイベントができる空間など、電車を利用する人だけでなく、地元の人たちが気軽に立ち寄れて、楽しい時間を過ごすことができる空間を想像しながら描いています。

and more...



PICK UP! COCプロジェクト

2015.12.26 **共に生き、地域の「絆」を守る餅つき大会 (佐賀関編)**

ウミネコの会「餅つき大会」

年の瀬に大分市佐賀関の幼稚園跡地に集まったのは、1年間にわたり稲作づくりに取り組んだ子どもたちと大学生、そして地元の皆さん。賑やかな雰囲気の中、餅つき大会が始まった。勢いよく杵を振り上げたものの石臼の端をたたいてしまう子どもたちを優しい笑顔で見守るおじいちゃん、おばあちゃん。子どもたちが杵を持つ手を大学生がしっかりと支え、もう一度「イチ・ニイ! べったん!」。元気な声が響きわたり、かつての幼稚園の一コマが蘇る。「物知りのおじいちゃんやおばあちゃんがたくさんおるなあ」、「若

い人は力があるから餅の伸びが違うなあ」とお互いを讃え合い、笑顔が弾ける。つきたてのお餅と一緒に、みんなで作ったしめ縄や鏡餅を地元の老人ホームにも届けてホッと一息。地域の皆さんが集う行事は、楽しみながら学べるのがたくさんある。「喜び」と「感謝」の輪の中で、若者たちはまた一つ成長していく。

まだまだあります!
大分県内をステージに進行中の
プロジェクトが盛りだくさん。

- 森林ボランティアで学んだこと
- カボス農場で感じる“特産品”の魅力
- 丹誠込めて育てた甘太くんへの愛情

etc...

くわしくはNBUのCOC特設サイト **coc-nbu.jp** へ